

# 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり

2002年神戸川流域で始まった活動をNPO法人しまね体験活動支援センターが引き継ぎ、現在は斐伊川流域を含めて実施中



NPO法人しまね体験活動支援センター



## 目的(斐伊川・神戸川流域環境マップづくり)

### 「ふるさとを愛する人づくり」

・河川調査を行うことで、体験不足の子ども達に生まれ育った川での体験の場を提供し、地域を愛し地域を守ろう、よくしようとする心を育むことや環境問題に関心を持つ人間を育てることをめざす。



### 「川の環境保全で住みやすい地域づくり」

・成果発表会等を通じて地域の大人との交流を図り、流域住民全体で川の環境保全について課題を共有化し、今後の地域づくりに活かしていく。

### 「データ蓄積と情報発信による河川環境保全意識の啓発」

・流域全体の調査データを島根県のHPで公開して河川に対する意識啓発に役立たせるとともに、貴重な河川データとして蓄積する。



# 河川水質調査

## ①準備(4月～5月)

調査期間や調査内容・予算配分など**全体計画**を決定。

	項目	結果
基本項目	調査した人	
	調査日時	
	川の名前	
	天気	
	気温	
	水温	
	川幅	
	川の深さ	
指標生物	アミカ	
	ウズムシ	
	カワゲラ	
	サワガニ	
	ナガレトビゲラ	
	ヒラタカゲロウ	
	ブユ	
	ヘビトンボ	

どんなことを調べたらいいかな？



## ②指導者の研修(5月)

直接調査を指導する**教員の研修会**を実施。



これだけ事前学習すればもう大丈夫！



主催：NPO法人しまね体験活動支援センター  
(スタートは神戸川流域環境学習推進協議会)

共催：島根県中山間地域研究センター

# 一斉調査



## ③調査(春6月と秋9月に一斉調査)

川の水生生物調査や、水温、見られる魚や鳥、ゴミなどの河川環境を調査します。  
結果は調査シートに書き込みます。



サワガニが3匹  
ヒラタカゲロウが8匹  
カワゲラが5匹...



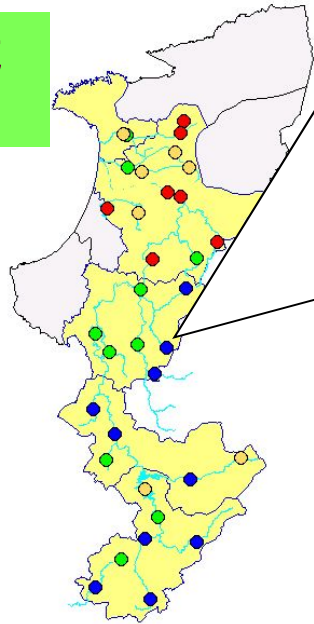


# 環境調査結果

## ⑤ マップづくり

情報ステーションのホームページからは自分の学校の調査結果だけでなく、他校の調査結果のマップをみることもできます。

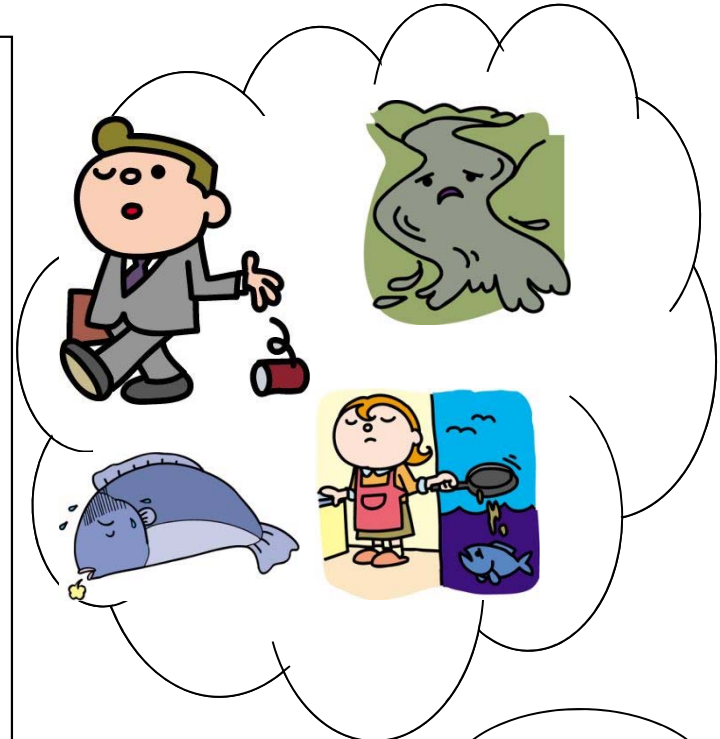
### 神戸川流域 環境マップ



タイトル: 中流はこんな感じ  
発見者: ○○小学校5年2組  
天気: 快晴  
気温: 20度  
水温: 15度  
アミカ: 0匹  
ウズムシ: 10匹  
カワゲラ: 15匹  
サワガニ: 3匹  
結果: きれいな水  
感想: ゴミは少しあったけど  
生き物がたくさんいたよ。



みんなで登録してできたマップをもとに  
川についていろいろ考えてみよう!



けっこう  
汚れている  
なあ

どうしたら  
いいかな



# 神戸川環境マップ

# 神戸川水質総合分析マップ

指標生物による水質判定

## 神戸川水質総合分析(71調査地点)

- ★ きれいな水 37(52%)
- ★ 少しかたない水 28(40%)
- ★ きたない水 5(7%)
- ★ たいへんきたない水 1(1%)

## 2002年調査結果

総合的な判断では  
神戸川の水はきれい  
でも汚れている場所もある



来年は神戸川  
の支流も調べて  
みたいな



全部の星  
を青色に  
したいわ

指標生物による水質判定  
★ きたない水  
★ きれいな水  
★ たいへんきたない水  
★ 少しかたない水



# 秋の成果発表会 (会場: 出雲科学館 4~6校参加)



2009年度 最優秀賞 奥出雲町立三沢小学校



2010年度 発表校 飯南町立来島小学校



成果発表会 会場の様子



2007年度 発表校 飯南町立赤名小学校

# 事業実施で得られた効果

・指導者研修会の開催で自らの体験も少ない教員の河川への関心が高まるとともに、指導力が向上し質の高い河川環境調査を実施することができた。

## 「教員自身の川への関心と指導力の向上」

・体験不足の子ども達にふるさとの川での河川調査体験を行うことで、川の生きものに対する関心が高まり、ふるさとを愛する心や河川環境保全に対する意識の向上が図られた。

## 「子ども達の川への関心の高まり」

・成果発表会・学習発表会などを通じて活動成果を共有したり活動の質を高めることができた。報告書やマップを流域の学校・図書館・コミュニティセンター・公民館等へ配布することで流域全体に河川環境の情報を発信することができ、上下流の一体感が生まれ、流域全体で川への関心が高まり、川を中心とした地域づくりにつなげることができた。河川調査を通じて学校と地域の協力関係が構築できた。

## 「流域への情報発信で活動成果を共有化」



# 斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの 取り組み（2002年～2011年）

## 調査回数

2002年9月に1回目の調査～2011年の秋で19回

## 参加者

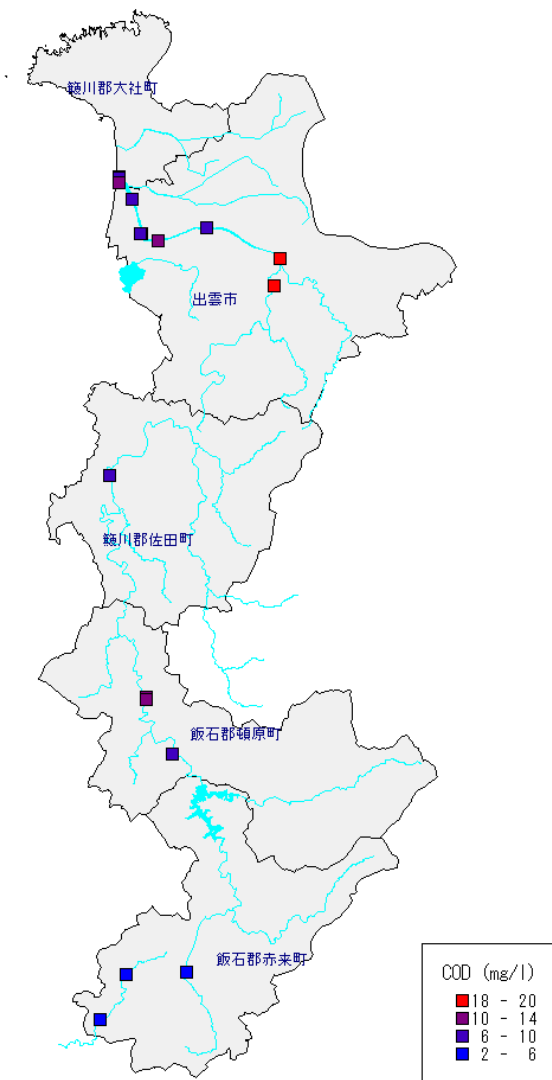
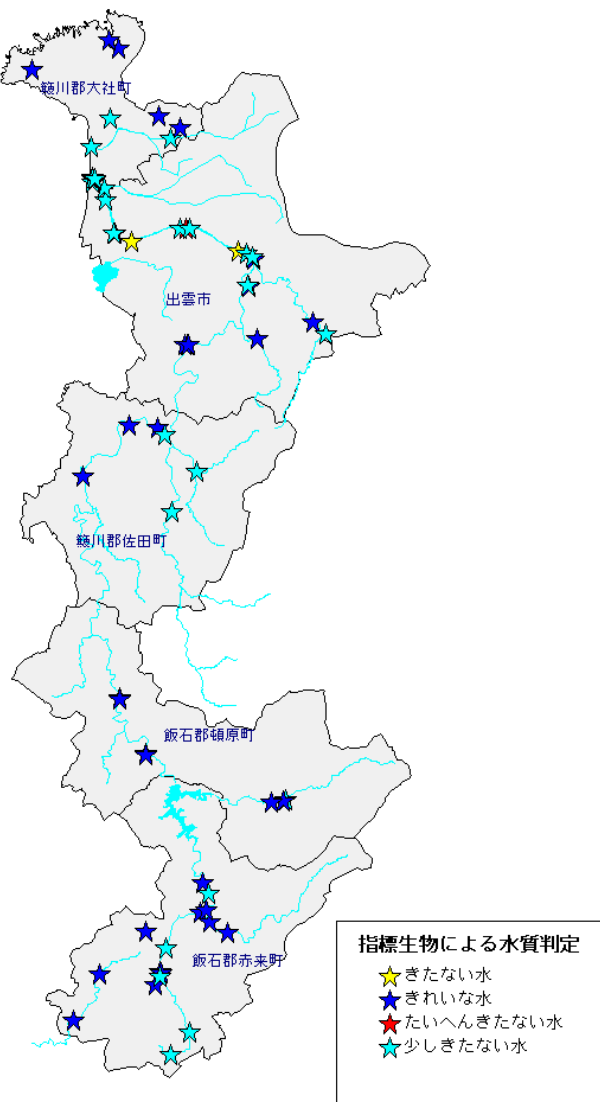
2002年以降10年間で、流域の小中学校約40校、のべ  
**10,985人**の児童・生徒が河川環境調査を体験



# 2002年 秋 水質判定・COD

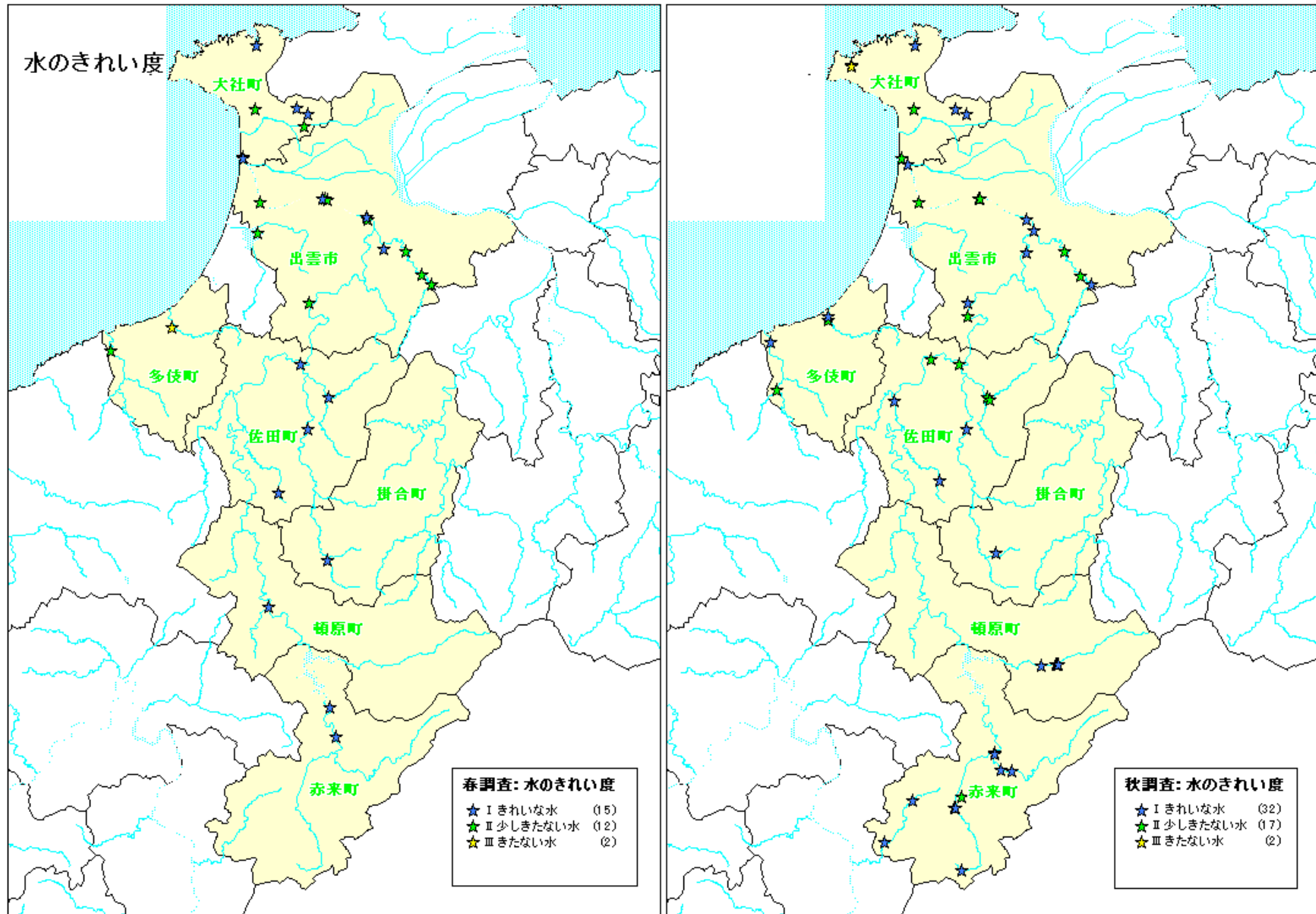
指標生物による水質判定

COD値

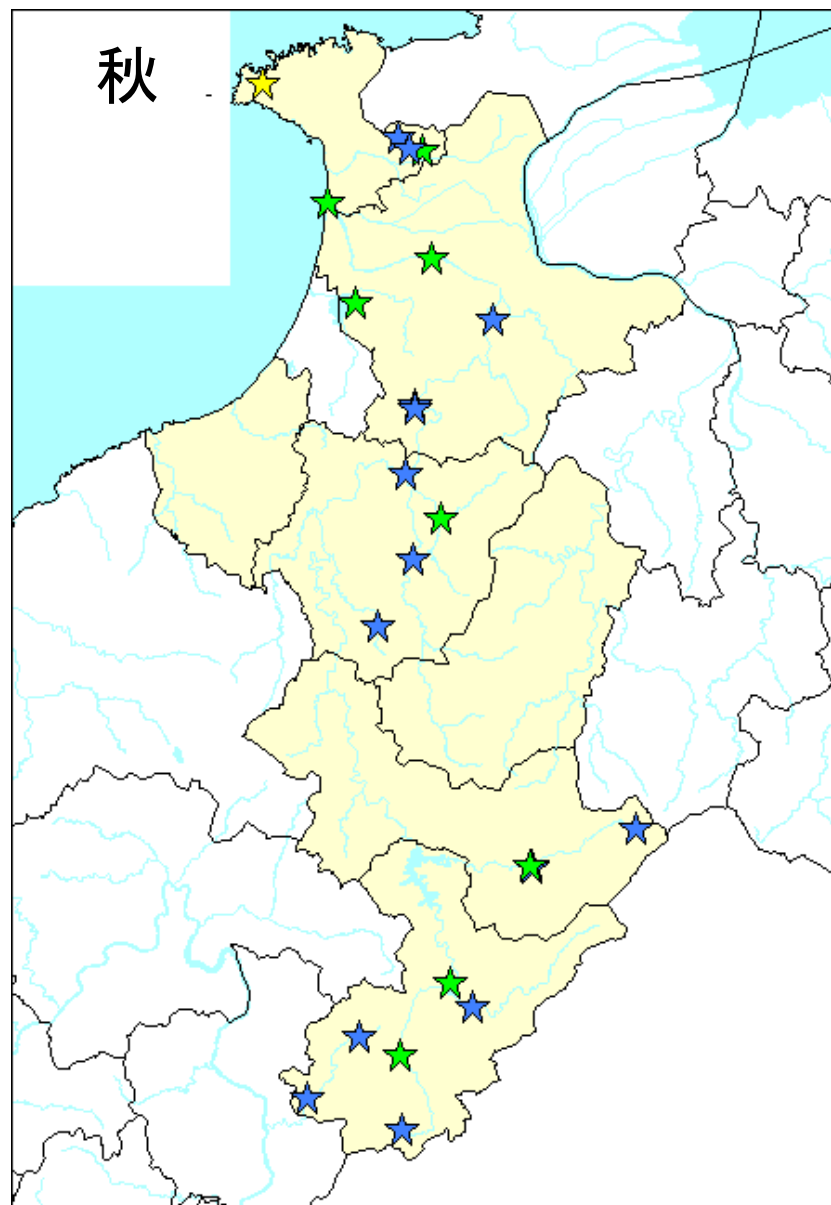
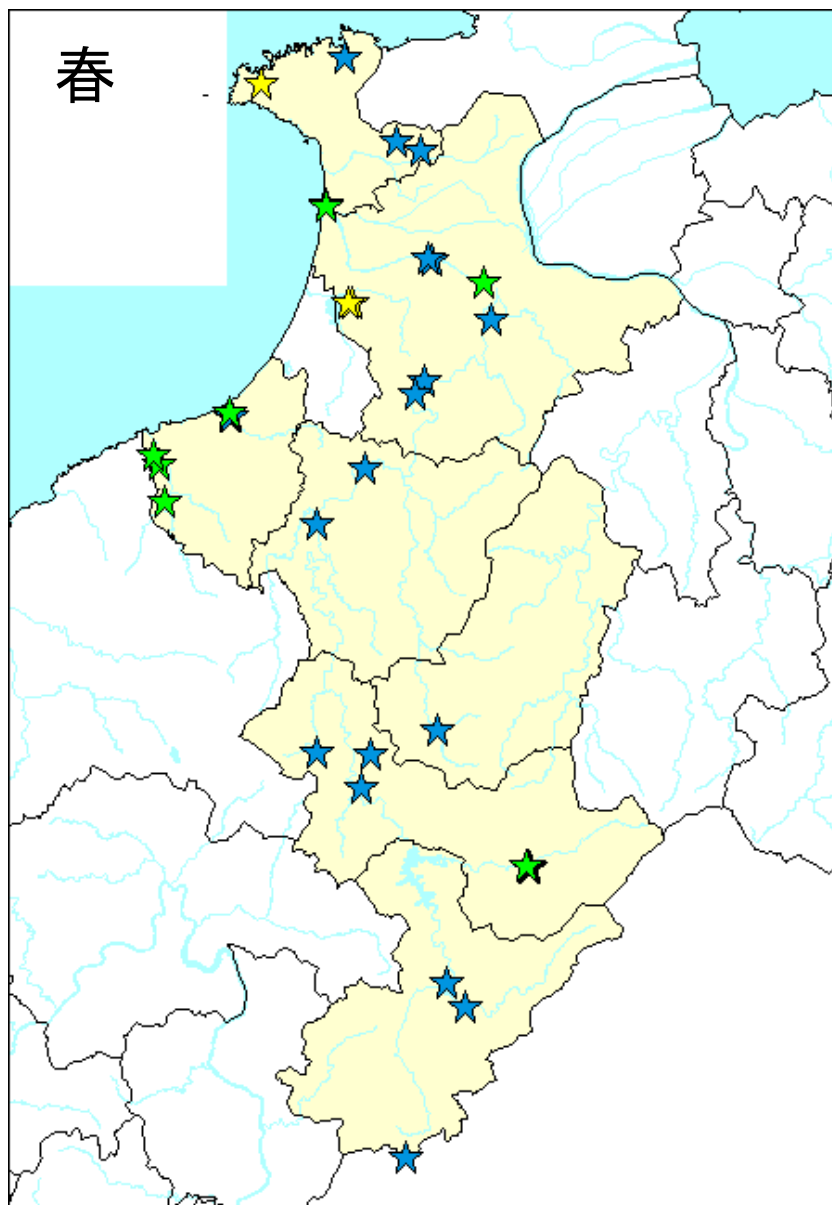




# 2003年 春・秋 水質判定



# 2004年 春・秋 水質判定

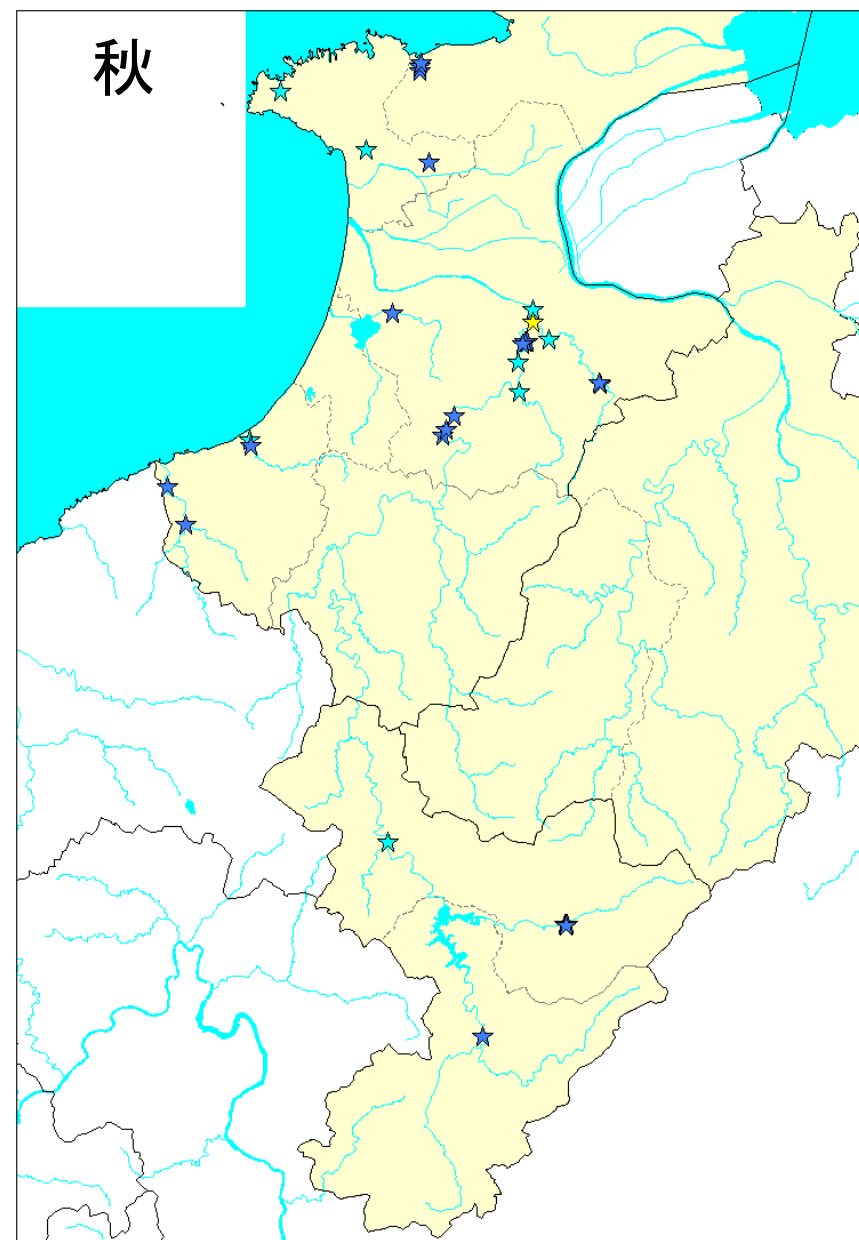
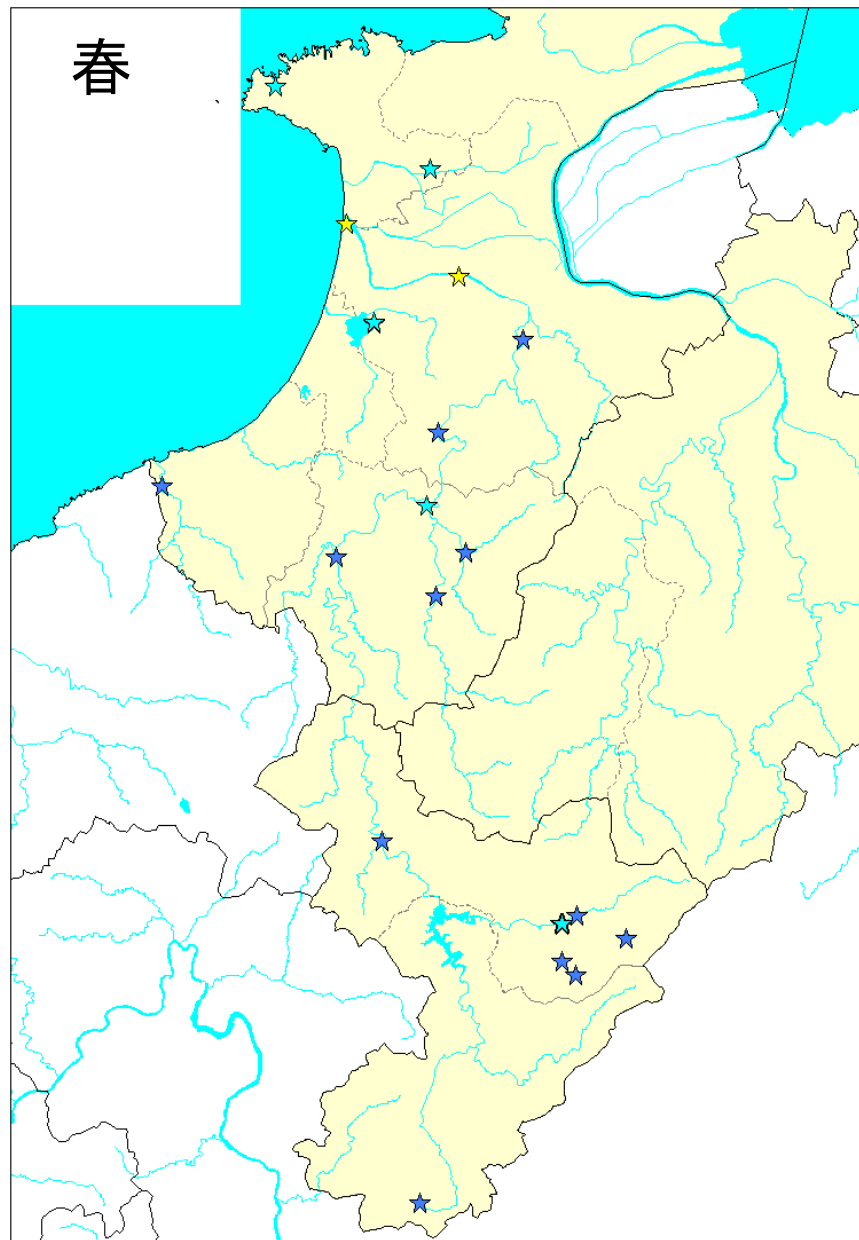




# 2005年 春・秋 水質判定

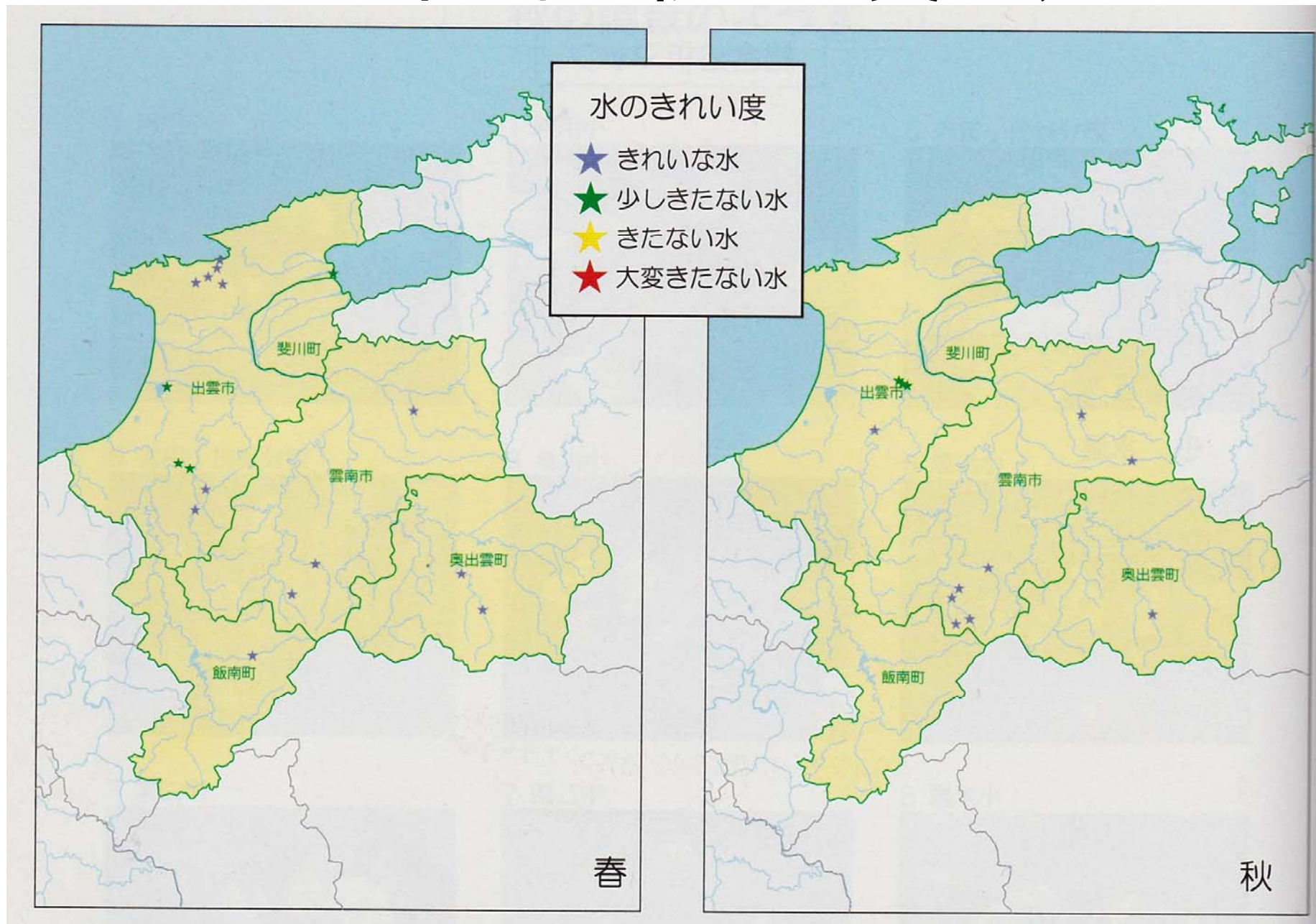


# 2006年 春・秋 水質判定

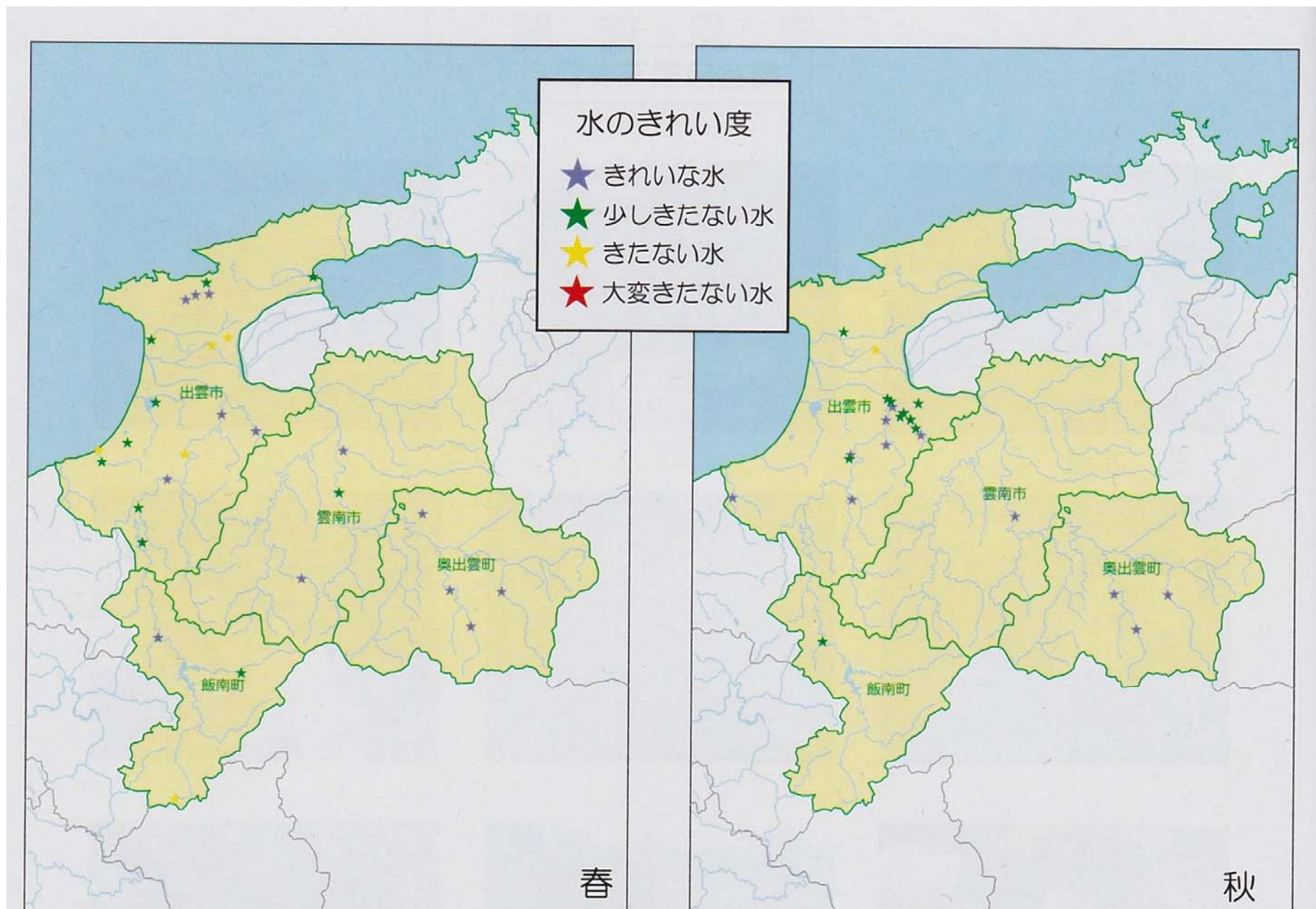




# 2007年 春・秋 水質判定

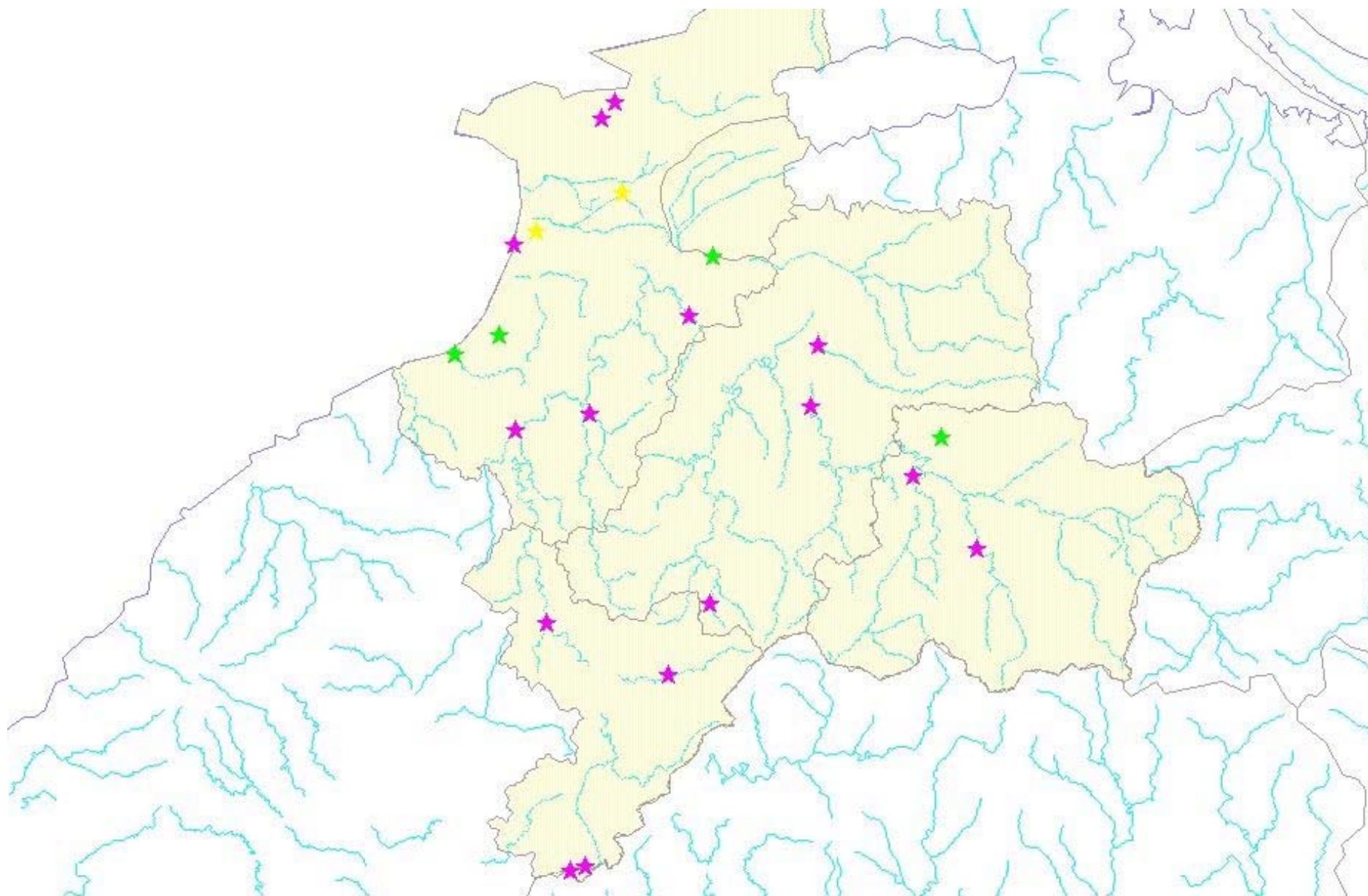


# 2008年 春・秋 水質判定

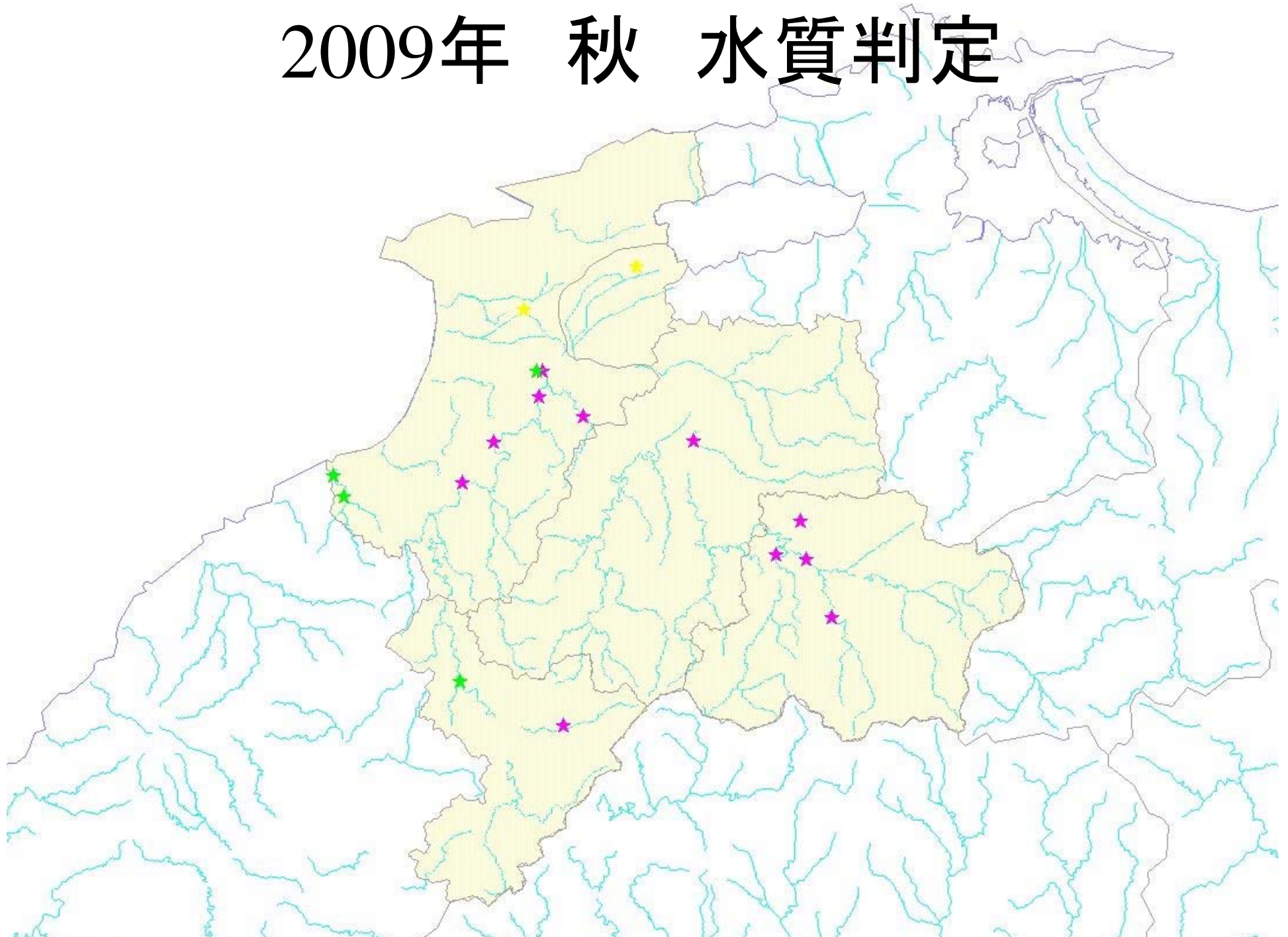




# 2009年 春 水質判定

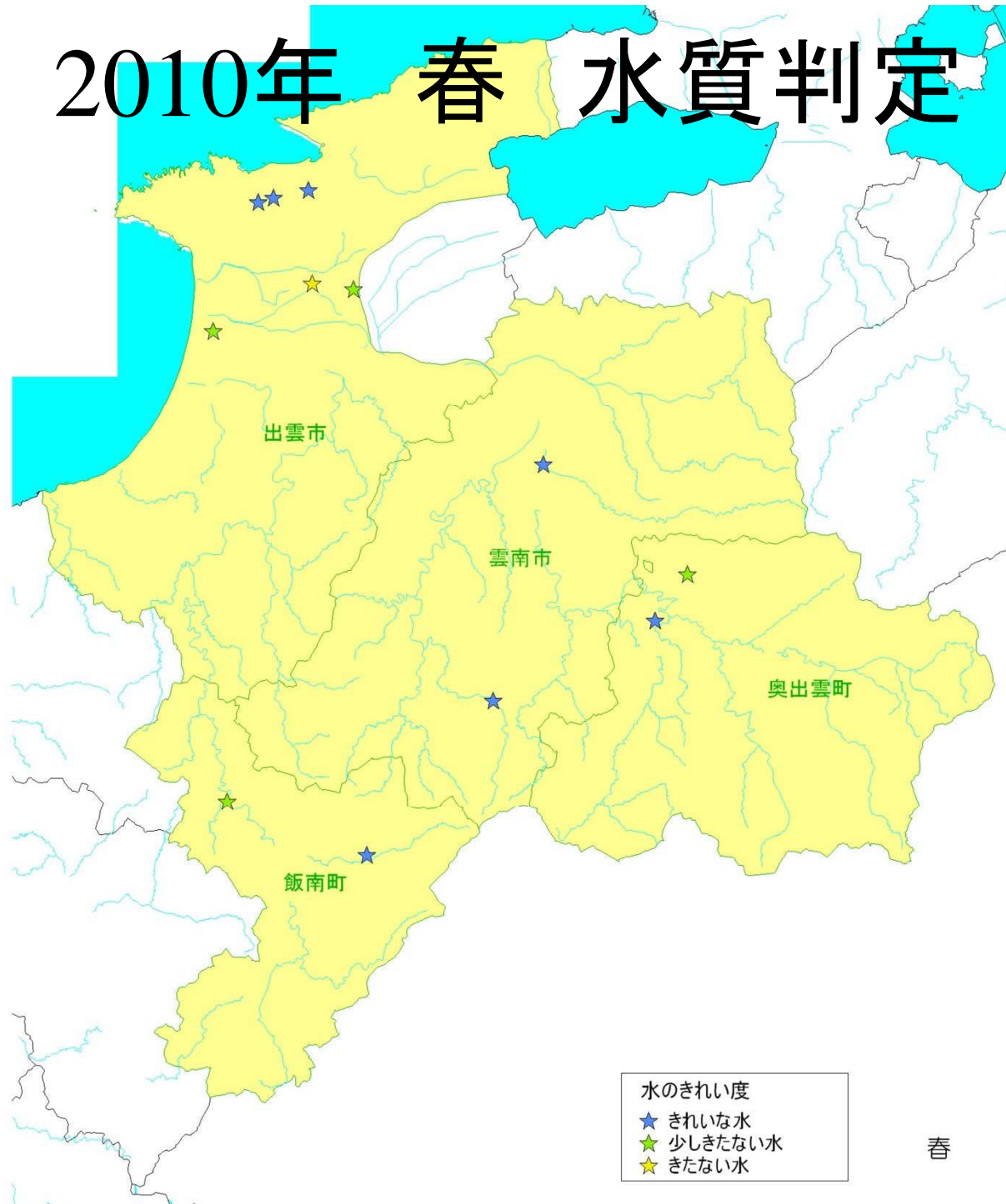


# 2009年 秋 水質判定



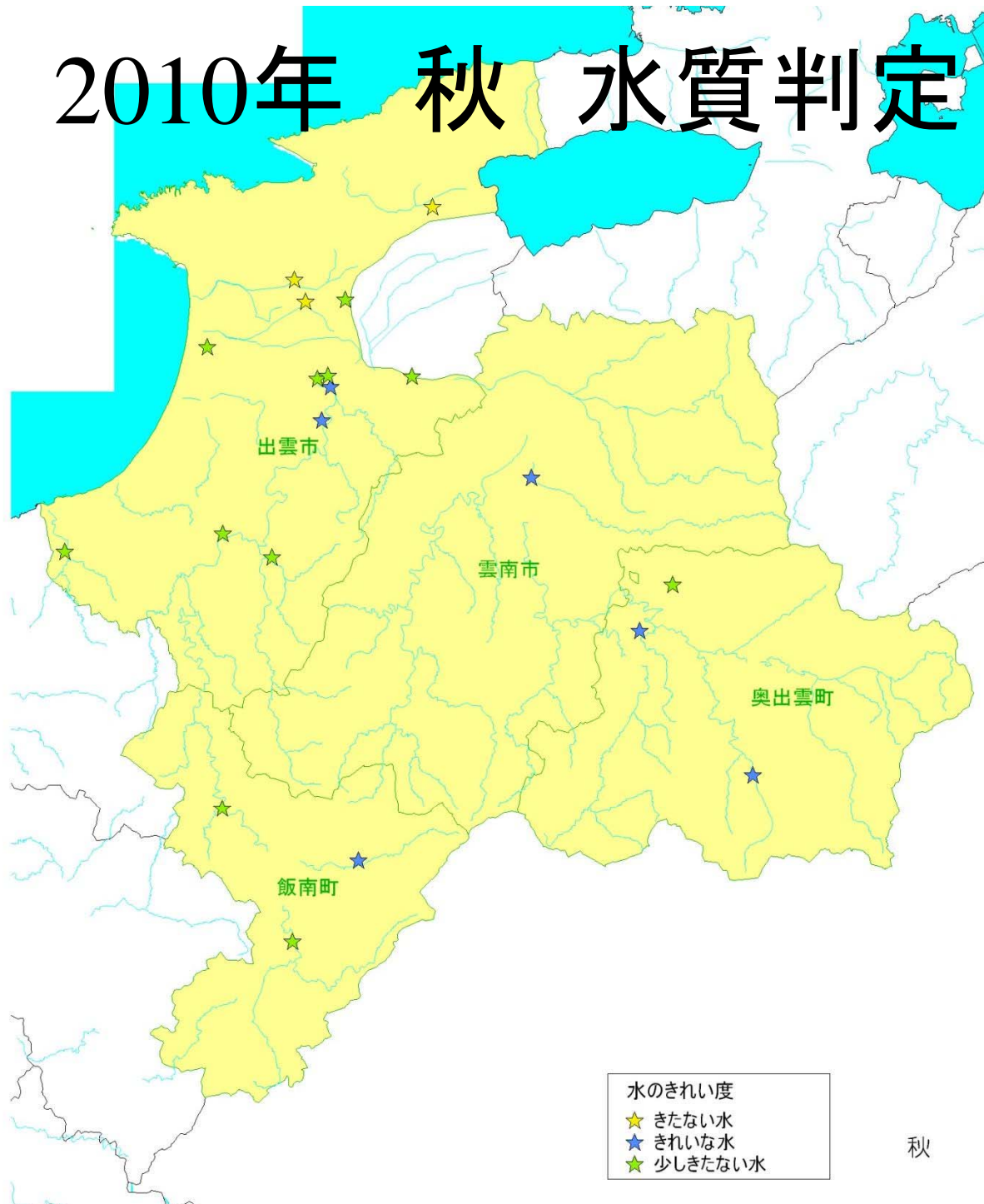


# 2010年 春 水質判定





# 2010年 秋 水質判定



# 2011年 春 水質判定



# 2011年 秋 水質判定

